

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」(事務事業点検シート)

課等名: 資産活用課

シート No.: 117-1 作成日: 2025.5/14

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	VII行財政運営の効率化	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 市民満足度の高い行財政運営を進める	市が保有する公共施設の多くは老朽化が進行しており利用者の安全性確保及び維持、管理、改修、更新等にかかる費用の増加が大きな課題となっています。一方で、高齢社会の進展により、公共施設等にかかる費用が減少しております。 そのような中、公共施設を安全安心に利用できる環境を確保するとともに、民間事業者のノウハウを活用して、公共施設及び市の魅力向上と財源の確保を進める必要があります。	・「常総市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の量と維持コストの適正化に取り組みます。 ・公共施設包括管理業務委託受託者と連携して、公共施設の適正な維持管理及び予防保全に取り組みます。 ・民間事業者のノウハウや資金を活用して、市民サービスの向上、公共資産の有効活用及び市の魅力向上に取り組みます。
	施策	1 行政運営		
	施策内容	公共施設の適正化と活用の推進		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	公共施設等総合管理計画		
事務事業名	公共施設マネジメント推進事業			

② アクティビティ (活動・事業) とアウトプット (結果)

③ インプット (投入)

アクティビティ (活動・事業)		アウトプット (結果)			R6 予算額	R6 決算額
活動名・事業名 (対象年)	R6 活動・事業内容	指標 (単位)	R6 目標値	R7 目標値		
			R6 実績値	R8 目標値		
公共施設等運用戦略会議 (R6・7・8)	各種公共施設マネジメントの戦略、方針決定をするため、会議を開催します。	開催回数 (回)	5	6	0 千円	0 千円
公共施設包括管理業務委託 (R6・7・8)	民間ノウハウを活用して包括的に公共施設を管理することで、統一した考え方による適切な維持保全を進めます。	対象業務件数 (件)	472	675	152,035 千円	151,228 千円
			469	675		
資産の有効活用に向けたサウンディング型市場調査 (R6・7・8)	民間事業者と対話を行い、意向調査、市場性の確認及び事業の実現可能性を検討します。	サウンディング型市場調査実施件数 (件)	2	2	千円	千円
			5	2		
民間提案制度 (R6・7・8)	公共施設の魅力向上、市民サービスの向上及び自治体経営に貢献する提案を民間事業者から受け付けます。	民間事業者からの提案件数 (件)	2	3	0 千円	0 千円
			5	3		
資産の有効活用に向けた公募型プロポーザル及び入札の実施 (R6・7・8)	未利用の土地や行政目的に用いられなくなった施設等の活用・売却を進めます。	公募及び入札実施件数 (件)	3	3	0 千円	0 千円
			5	3		
職員研修 (R6・7・8)	公共施設マネジメントや公民連携に関する職員研修を実施し、全庁的に取組を進める意識を醸成する。	職員研修参加者数 (人)	50	50	110 千円	50 千円
			95	50		

④ アウトカム (成果)

指標名	目標値	R6 実績値
公共施設の保有量	221,851 ㎡	221,977 ㎡
財産使用料及び財産収入の合計額	35,000 千円	36,154 千円
公民連携事業の事業化件数 (新規)	1 件	2 件

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地
サウンディング型市場調査では多くの提案が示され、施設整備計画及び資産の有効活用に繋げることができました。 資産の有効活用に向けた公募型プロポーザルでは、旧大花羽小学校及び鬼怒中学校の活用事業者が選定され、令和7年度から活用が開始される予定です。 公共施設等運用戦略会議を方針決定の場として、全庁的に公共施設の適正な維持管理及び資産の有効活用を進めていく体制を構築しています。	<input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他
	今後の方向性 公共施設の適正化及び公共資産の有効活用を迅速に進めるためには、施設及び敷地状況を把握し適切に管理することが必要です。各部署がその役割を認識したうえで、施設情報の共有と庁内連携体制の構築を進めていきます。